

# 岡山後樂園

きもっと知ろう!

## 花と木編

1月~3月



梅林には、ロウバイやスイセンなどさむいうちから咲く花に続いてウメが咲きます。



スイセン



ロウバイ



紅梅



白梅

6月はじめ~7月おわり



花葉の池



一天四海



大賀ハス

花葉の池と井田にハスが咲きます。7月のはじめの日曜日には、ハスが花開くようすを見る行事の観蓮節があります。

暑い夏には、園路のそばにいろいろな花が咲きます。



7月中ごろ~9月おわり



サルスベリ

栄唱の間の中庭のほかいろいろなところにあります。



ソテツ雄花



ソテツ雌花



ナツズイセン



ヤブラン

4月中ごろ~6月はじめ



唯心山のほか園内のいろいろなところにツツジやサツキが咲きます。



ツツジ



サツキ



サツキ

ツツジは、白色でまどろいしく、石組と景色をつくりまします。

4月中ごろ~6月中ごろ



流店と花菖蒲畑

流店の近くでは、アヤメの仲間がずっと咲きます。

4月中ごろ~5月はじめ



アヤメ

4月おわり~5月中ごろ



カキツバタ

ウツギは、卵の花ともいい、夏のおとずれを知らせる花として親しまれているよ。

水のとりに近い口近く 水辺近くの花たち



ウツギ



5月おわり~6月中ごろ



ハナショウブ



ニワザクラ



ヤマブキ



アジサイ



ユウスゲ

9月はじめ~9月おわり



ハギ

沢の池と馬場にピンクや白のハギが咲きます。

11月はじめ~12月はじめ



イロハモミジなどの紅葉

千入の森のほか園内のいろいろなところで紅葉がみごろになります。



茶畑のチャノキの葉



チャノキの花

11月に茶畑のチャノキに白く小さな花が咲くんだ。5月にはむかしながらの茶つみが見られる「茶つみ祭」があるよ。



10月中ごろ~1月おわり



サザンカ

12月はじめ~4月おわり



ツバキ



オトメツバキ

# 岡山後樂園

きもっと知ろう!

## 花と木編



庭園の景色は、花や木をどのように使うかで、その庭の個性がでできます。つまり、その庭をつくった人のこのみがわかるのです。後樂園をつくったお殿さまの池田綱政のころは、山桜など桜が約1200本あったという記録があり、春には園内のあちこちで桜が咲いたようです。また、当時は桜と松、カエデを組合わせて林がつけられていました。

その子どもの継政の時代には唯心山ができて、ツツジやサツキが多く使われました。お殿さまのこのみがいろいろといかされていることがわかります。今の後樂園では、花や木が枯れたら、その場にふさわしい花や木を植えて景色をたもっています。

また、後樂園ができたころは、芝生よりも田畑がひろく、今とはずいぶんちがう景色だったことが江戸時代の絵図からわかります。今は井田だけが田畑として残されており、後樂園では農業にかかわる行事をしています。

そのほか、芝焼きや松のこも巻き、こも焼きなど、日本伝統の庭の手入れにかかわる行事もあります。

### 花に関する場所や名前

後樂園には「花葉」や「花交」など、花という漢字を使った場所があります。江戸時代の絵図には、その場所に山桜を数多く植えており、春には桜の花が咲き、秋にはそれらが紅葉してたいへん美しい景色をつくっていたことがわかります。

とくに、二色が岡とよばれる林には山桜が多く植えられており、林のなかの建物は「花葉軒」といきました。また、後樂園ができてしばらくは花交の池に面して「花交」という名前の建物があり、池の周囲には山桜や花の咲く木が描かれています。また、「花交」の前の池や滝ということで、花交の池、花交の滝とよばれ、今では名前として定着しました。

### 豆知識 B

#### 松のこも巻き、こも焼き

松につく害虫が地中で冬を越す習性を利用し、こも(わらでつくったむしろ)に集めておき、春先に虫が活動をはじめるとこもと焼く手入れの方法。



こも巻き



こも焼き

### 薬を使わない害虫駆除法のひとつ

### 豆知識 C

#### 茶畑

茶畑は、約300年前の絵図にも描かれており、ずっとこの位置にたつてきたもののひとつです。江戸時代は後樂園につとめる役人たちが茶つみをし、煎茶にして、上等なものはお殿さまがふだんに飲むお茶になりました。今は、後樂園の年中行事のひとつとして、美作海田地区の早乙女が、手づつ茶つみのようすをひろっています。



日常の手入れで葉を機械で刈り取るようす

### 豆知識 D

#### 井田

井田では、むかしながらの農業のようすを見ることができます。江戸時代は芝生よりも田畑がひろく、お殿さまたちも田植えを見していました。



春に咲くレンゲツバは肥料になります



夏に稲がすくすく育ちます

秋のみのりきむかえところ



お田植え祭



稲の刈り取りがすむと、しばらのあいだ干します

### 豆知識 E

#### 八橋とカキツバタ

八橋とカキツバタの組合わせには物語があります。むかし、都をはなれて東国に向かう一団が、三河(今の愛知県)についたとき、八橋のそばにカキツバタが咲いていました。そこで、「かきつば(は)た」の文字を頭において、遠く離れた都にいる家族をおもって和歌を詠みました。八橋とカキツバタを組合わせたデザインは、日本の伝統工芸品や庭に、よく使われています。



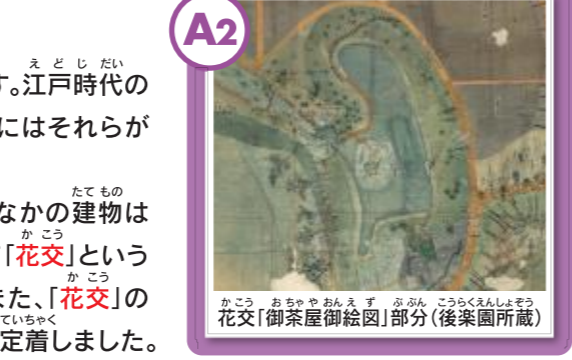
からごろもきつつなれにし  
つましあれば  
はるばるきぬる  
たびをしそおもう



在原業平



二色が岡「御茶屋御絵図」部分(後樂園所蔵)



花交「御茶屋御絵図」部分(後樂園所蔵)

### 豆知識 A

#### 花に関する場所や名前

後樂園には「花葉」や「花交」など、花という漢字を使った場所があります。江戸時代の絵図には、その場所に山桜を数多く植えており、春には桜の花が咲き、秋にはそれらが紅葉してたいへん美しい景色をつくっていたことがわかります。とくに、二色が岡とよばれる林には山桜が多く植えられており、林のなかの建物は「花葉軒」といきました。また、後樂園ができてしばらくは花交の池に面して「花交」という名前の建物があり、池の周囲には山桜や花の咲く木が描かれています。また、「花交」の前の池や滝ということで、花交の池、花交の滝とよばれ、今では名前として定着しました。